

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 5 部門第 1 区分
 【発行日】平成 26 年 7 月 24 日 (2014.7.24)

【公開番号】特開 2011-256868 (P2011-256868A)
 【公開日】平成 23 年 12 月 22 日 (2011.12.22)
 【年通号数】公開・登録公報 2011-051
 【出願番号】特願 2011-127792 (P2011-127792)
 【国際特許分類】

F 0 1 D 25/00 (2006.01)

F 0 2 C 7/28 (2006.01)

【 F I 】

F 0 1 D 25/00 M

F 0 2 C 7/28 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 26 年 6 月 5 日 (2014.6.5)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

隣接するタービン部品 (1 4 、 1 6) 間の流体漏れ間隙 (1 2) をシールするためのバネ負荷式シール・アセンブリ (1 0) であって、

隣接する固定タービン部品 (1 4 、 1 6) によって画定される一対の対向するシール溝 (2 2 、 2 4) 内で延びるタービン・シール (1 8) であって、前記タービン部品 (1 4 、 1 6) 間に画定された流体漏れ間隙 (1 2) をシールするように構成されたタービン・シール (1 8) と、

前記タービン・シール (1 8) を前記シール溝 (2 2 、 2 4) の各々の一部分とシール嵌合状態に保つように構成されたバネ部材 (2 0) であって、該バネ部材 (2 0) の少なくとも一部分が、前記タービン部品 (1 4 、 1 6) の少なくとも一方に画定された少なくとも 1 つのバネ溝 (3 6) 内に収まり、前記少なくとも 1 つのバネ溝 (3 6) が前記シール溝 (2 2 、 2 4) から離間している、バネ部材 (2 0) とを含むバネ負荷式シール・アセンブリ (1 0) 。

【請求項 2】

前記バネ部材 (2 0) がその長さに沿って弓形に曲がっている、請求項 1 に記載のバネ負荷式シール・アセンブリ (1 0) 。

【請求項 3】

前記バネ部材 (2 0) が、前記タービン・シール (1 8) を前記タービン部品 (1 4 、 1 6) とシール嵌合状態に保つように、前記シール溝 (2 2 、 2 4) の各々の前記部分に対して弓形に曲がっている、請求項 2 に記載のバネ負荷式シール・アセンブリ (1 0) 。

【請求項 4】

前記バネ部材 (2 0) が、前記タービン・シール (1 8) の長さに沿って複数の離間した箇所で前記タービン・シール (1 8) と接触する、請求項 1 に記載のバネ負荷式シール・アセンブリ (1 0) 。

【請求項 5】

前記バネ部材 (2 0) が、前記タービン・シール (1 8) の長さに沿って長手方向に延びる、請求項 1 乃至請求項 4 のいずれか 1 項に記載のバネ負荷式シール・アセンブリ (1

0) 。

【請求項 6】

前記バネ部材 (2 0) が板バネとして構成される、請求項 1 乃至請求項 5 のいずれか 1 項に記載のバネ負荷式シール・アセンブリ (1 0) 。

【請求項 7】

前記バネ部材 (2 0) が、前記シール溝 (2 2 、 2 4) のいずれの部分とも接触しない、請求項 1 乃至請求項 6 のいずれか 1 項に記載のバネ負荷式シール・アセンブリ (1 0) 。

。

【請求項 8】

前記バネ部材 (2 0) の少なくとも一部分が、前記タービン部品 (1 4 、 1 6) によって画定される一对の対向するバネ溝 (3 6) 内に収まる、請求項 1 乃至請求項 7 のいずれか 1 項に記載のバネ負荷式シール・アセンブリ (1 0) 。

【請求項 9】

前記バネ部材 (2 0) が、該バネ部材 (2 0) の長さに沿って離間した複数の突出部 (3 8) を含んでおり、前記複数の突出部 (3 8) の各々が前記バネ溝 (3 6) 内に収まるように構成されている、請求項 8 に記載のバネ負荷式シール・アセンブリ (1 0) 。

【請求項 10】

前記バネ部材 (2 0) が、第 1 の端部 (3 2) と、第 2 の端部 (3 4) と、前記第 1 の端部 (2 0) から外側に延びる突出部 (3 8) とを含んでおり、前記突出部 (3 8) が前記バネ溝 (3 6) 内に収まるように構成されている、請求項 8 に記載のバネ負荷式シール・アセンブリ (1 0) 。

【請求項 11】

前記突出部 (3 8) が、前記バネ溝 (3 6) 内にスライド可能に収まるように構成されている、請求項 10 に記載のバネ負荷式シール・アセンブリ (1 0) 。

【請求項 12】

前記突出部 (3 8) が、前記バネ部材 (2 0) において前記タービン部品 (1 4 、 1 6) と接触する唯一の部分である、請求項 10 又は請求項 11 に記載のバネ負荷式シール・アセンブリ (1 0) 。

【請求項 13】

前記第 2 の端部 (3 4) が、前記タービン・シール (1 8) を前記シール溝 (2 2 、 2 4) の各々の前記部分とシール嵌合状態に保つように前記バネ部材 (2 0) がその長さに沿って弓形に曲がることのできる位置に配置される、請求項 10 乃至請求項 12 のいずれか 1 項に記載のバネ負荷式シール・アセンブリ (1 0) 。

【請求項 14】

前記バネ部材 (2 0) の前記第 2 の端部 (3 4) は、前記タービン・シール (1 8) を第 3 のタービン部品 (4 2) に取り付けるように構成されたブラケット (4 0) に実質的に隣接して配置される、請求項 13 に記載のバネ負荷式シール・アセンブリ (1 0) 。